

令和7年度 地域おこし協力隊 活動報告書

報告者： 余市町地域おこし協力隊 尹 偉捷

対象期間： 令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1. 令和7年度の主な活動内容

本年度は、ドメーヌタカヒコでの農業技術研修を軸に、町内飲食店への業務支援、SNSを活用した余市ワインのPR活動、そして次世代品種の導入を見据えた海外研修など、多角的な活動を展開しました。

・農業技術研修（通年）

・ドメーヌタカヒコにて、年間を通じて剪定、防除、収穫等の高度な有機栽培、醸造技術を習得しました。



・余市ワインのPR・普及活動

・毎週金曜日の夜、駅前のワインバーY'nでワイン資格を生かし業務支援をしています。今年は8周年イベントにて、友好都市である仏ジュヴレ・シャンベルタン村のワインと余市ワイン（ドメーヌ・ユイ）の比較試飲を実施し、町

民の友好都市への理解を深める機会を創出しました。



・ SNS 発信：中国語圏の SNS を活用し、余市ワインの魅力を継続的に発信。インバウンド層や海外ワイン愛好家への認知度向上を図りました。

・ 香港及び中国からのワイナリー見学者の対応を行い、余市の風土を紹介しました。

・ ソーラン祭りで子供向けのブースでゲームを提供しました。



・海外研修および国際交流（3月）

フランス研修：気候変動に対応する次世代品種として「カベルネ・フラン」に着目し、ロワール地方（ソミュール等）のトップ生産者から栽培・醸造の最新知見を吸収しました。またジュラ地方、ブルゴーニュ地方も訪問し各地域の栽培・醸造の特徴を学びました。



余市ワインPRイベント（ジュラ・アルボワ）：フランス・アルボワにて、ドメヌタカヒコやドメヌモンなどのワインを紹介するテイスティングイベントを開催し、余市ワインのポテンシャルをアピールしました。



2. 活動成果と次年度への展望

・成果：

・当初立てた計画の通り、ワイナリーでの研修、Y' n での支援、SNS での余市 PR 活動などをこなしました。

・フランス研修を通じて、冷涼産地である余市でも高品質なカベルネ・フランを生産できる可能性を確信しました。特に土壌の管理や、低温管理による醸造のノウハウは、自身のワイナリープロジェクトに生かしていきたいです。

・課題と展望：

・海外研修を通じ、余市ワインの評価は高いものの、世界的な需要に対して供給量が圧倒的に不足していることを痛感しました。少しでも貢献できるように各ワイナリーと相談し海外向けのブランディング活動をしていきたい、また自身のワイナリー計画も早急に進めていきたいです。